

宮古発

月命日の集中搜索



東日本大震災の発生から4年8か月。沿岸各地で警察が行方不明者の集中搜索を行いました。このうち94人の行方がいまだ分からない

宮古市では田老地区の小堀内漁港で搜索が行われ、警察官18人が海岸線と海で不明者の手がかりを探しました。県内では1126人が行方不明のままとなっています。(11/11 ニュースエコー)

大槌発

新『番屋』完成

大槌町の大槌漁港に、日本財団の支援で建設が進められてきた新たな「番屋施設」が完成しました。新番屋『コミュニティ番屋』は、漁家の休息や交流の場として、休憩場所や会議室などを備えています。(11/11 ニュースエコー)



宮古発

閉伊川橋梁復旧工事

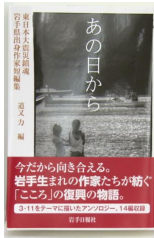


一部区間が不通となっているJR山田線で、宮古市の閉伊川にかかる橋の復旧工事が始まりました。閉伊川橋梁は全長245メートルのうち

ちおよそ140メートルが津波で壊れました。復旧工事は、流失した区間の橋げたを新たに設置し、残った橋げたは補修する形で進め、来年11月の完成を目指しています。(11/13 ニュースエコー)

盛岡発

「あの日から」出版



県内出身作家たちが東日本大震災をテーマにつづった短編集が出版され、盛岡で祝賀会が開かれました。短編集「あの日から」は岩手出身の作家12人による復興の物語がつづられています。来月には出版を記念し、大船渡と陸前高田で朗読劇の公演も行われる予定です。(11/14 ニュース)

陸前高田発

陸前高田応援マラソン

陸前高田市で『復活の道しるべ 陸前高田応援マラソン』が初開催されました。大会には800人が参加し、復興の進む街中を駆け抜けました。将来的には「奇跡の一本松」を中心としたフルマラソンの開催を目指します。



(11/15 ニュース)

大船渡発

BRTでの本復旧



JR大船渡線について、大船渡市議会の畑中孝弘議長ら4人の議員が戸田公明市長を訪れ、市議会として『BRT=バス高速輸送システム』で

の本復旧を受け入れると市に伝えました。調査・検討の結果、BRTが低コストで柔軟な運用も可能であると判断してのことです。(11/16 ニュースエコー)

宮古発

摂待第1トンネル貫通

三陸沿岸道路のうち、宮古市田老の小堀内地区から岩泉町の小本地区までを結ぶ「田老岩泉道路」で、全長1335メートルの摂待第



1トンネルが貫通しました。田老岩泉道路は2017年度に開通する予定です。(11/16 ニュースエコー)

宮古発

さんりく元気ラジオ!

(ワイドステーション内 毎週水曜日放送)

今週はみやこハーバーラジオの木村悠里さんが、宮古市田老地区の特設会場で11月22日(日)に開催される『鮭・あわび祭り』について伝えてくれました。まつりでは鮭汁の無料提供や鮭のつかみどり体験の他、地元海産物・農産物の販売、さらに郷土芸能の披露や歌謡ショーなども行われ、盛りだくさんの内容ということです。(11/18)



「IBC復興支援室だより」facebookでも発信中
詳細はIBC公式サイトから <http://www.ibc.co.jp/>
IBC復興支援室事務局 019-623-3122